

<p>スカウトの 輪を 広げよう</p>	 <p>スカウト 浜松</p>	<p>標 語 そなえよつねに 日日の善行</p>
------------------------------	--	----------------------------------



## 新しい年を迎えて

浜松地区野営行事委員長 木村 清治



新しい年を迎え、おめでとう御座います。

今年も子供達のしあわせの為、皆様と力を合せ頑張りたいと思っています。

去年は天皇陛下におかれましては御即位大礼の儀を、お迎えになられ新年にあたりこの意義深い御大典を国民の一人として心からお祝いを申し上げ平成の御代が平和と繁栄の時代になります事を願うものであります。

本年は羊の年、私の年ではありますが、羊の年は大きな変格があるといいますが、国際的に昨年から民主化の為、多くのとうとい命も数多く亡くなり又、イラクのクエート進行と云う思ってもいなく起きこれかいつ解決がつくかまだまだ予断

ない情勢にあり、もし戦争でも起きれば

業はひとたまりもなく経営困難に落ち

入りそれこそ奉仕どころではないところに追い込まれかねないと心配をしています。なんとか平和的に解決してくれるよう心から願うものであります。

そんな中、本年は浜松地区から私共、東小地区は浜松東地区として独立する事になり精神的、肉体的に忙しい毎日を送っています。

私も地区委員長候補として気持ちばかりあせるけれども、なかなかおもうに任せず、いらいらの毎日であります。

幸い山田委員長が律義な人柄だけに一步一步確実に前に進めて下さいまして私としても心強く思っています。

一日も早く東地区を完全なものにし心配をし見守っていて下さる石津委員長をはじめ多くの委員長さんに安心をして頂くよう今日から全力投球でがんばりたいと思います。

どうか関係各位の御協力をお願い致します次第であります。

# 平成 3 年年頭を迎えて

浜松地区委員長

石津 宏



新しい年を皆様とともに  
お祝い申し上げます。

希望と抱負にみちみちて  
いることでしょう。羊は古  
くから人に飼われた動物で  
色々な字に表われています。  
群、美、善、又その下に我

を書くと義ととなる。私達はとかく忘れがちとな  
るが大切な言葉です。

昨年は東西両ドイツの統一に始まり、第10回日  
本ジャンボリーが開催され3万有余のスカウトが  
集まり、友と語り、自然と語りあいました。

平成の時代となり天皇の即位の礼、大嘗祭の儀  
式が古式ゆかしく行われました。しかし8月には

中東に湾岸危機が突発し世界を極度な緊張状態に  
させています。又地球の環境も悪くなり対策を迫  
られ、スカウトの環境年が続きます。

今年、東小地区が浜松東地区として独立し運  
営することになり4月より発足します。今後の発  
展を期待します。これをふまえて地区の運営につ  
いても考えていかねばならない年であります。

一方、隣国韓国では第17回世界ジャンボリーが  
8月8日より開催されます。日本からも多くのス  
カウトが参加します。国際理解と親善の場として  
成功されんことを。21世紀が一步づつ近づいてき  
ます。スカウト運動も益々重要性を増してまいり  
ます。

浜松地区の弥栄と今後の御支援をお願いし御健  
勝を祈ります。

## 新春 弥 栄

浜松地区コミッショナー

近藤 孝明



新年あけましておめでと  
うございます。

皆様方には、すこやかに  
新春をお迎えのこととお慶  
び申し上げます。

昨年春にカブの制度が見  
直され、新カブ制度に変更  
になり、説明会、講習会が開かれましたし、ス  
カウトやスカウト浜松にも変更内容が説明され  
ていますし、新しいカブブックも出版されました。  
団委員長さんを初めリーダーの皆様も充分勉強さ  
れたことと思います。昨年もう新しいプログラムに  
移行された団もあろうかと思いますが、ほとん  
どの団はまだこれからだと思います。今年4月  
からは確実に新しいプログラムに移行して下さい。

太田山野営場が昨年の台風で大変荒れはてた姿  
になっています。このままではキャンプはできま  
せん。まず入口のコンクリート道路の下の土砂が  
削りとられていますし、Aサイト、Bサイトに掛  
かる丸太の橋は全部流されてありませんし、奥の  
広場の横の大きな木が倒れています。又あちこ  
ちに流木が木にひっかかっています。3月になれば

キャンプも初まります。皆さんが使うキャンプ場  
です。皆さんの手で整備をしようではありません  
か。各団から2・3人位ずつでいただき一日あ  
れば充分整備出来ると思います是非お願いします。



## スカウト展開催

11月23日(祭)24日(土)25日(日)

アピタ初生店にてボーイスカウト展を行いました。連日大勢の見学者で賑わいました。BPの肖像画をはじめ地区各団の隊旗各種大会の活動記録写真ジャンボリーの活動記録など、また各種大会の記念の楯・世界各国との交歓の記念品など多くの展示をしました。立ち「かまど」「テントサイト」などはミニチュアで展示しました、ビデオコーナーではジャンボリーでの活躍、各団の活動記録や「スカウト」活動の状況を流して来場者に感銘を与えたことと思います。チャレンジコーナーでは折り紙・ロープワーク・手旗・すりこぎ「とんぼ」触覚ゲーム・「もぐら」叩きなど遊びやゲーム工作を取り入れて参加者は大変に楽しい体験をしたことと思います。大勢の参加者で協力の団委員の方やリーダーの方は大変に疲れたことと思います。今後も機会があればこの様な「スカウト」展を行えば多くの理解者も得られるものと思います。開催に当たり各団の団委員・リーダーの方々には御協力を戴き厚くお礼を申し上げます。特に22日には19時より機材の搬入を行いましたが大勢の方の協力ですムースに行くことが出来ました。23日は8時より機材の展示10時より「スカウト」展の開催に至りました。連日多くの方の奉仕で来場者にパンフレットの配布・案内。説明など慣れないしごとで大変にお疲れのことと思いました。毎日予想以上の大勢の方々の御協力で大変嬉しくおもいました。皆さんのこの熱意で浜松地区では今後明るい「スカウト」活動の見通しが得られるものと思います。



## 東小地区が分封することになりました

平成 3 年 4 月より東小地区が分封することになりました。現在浜松地区には21個団ありますが情報の伝達・連絡など21個団に連絡するには大変なことで、また不在などでスムーズに連絡がとれない場合もあります。そのような状態で小地区に分けて皆で分担したら連絡も確実に出来るのではないか、また大勢で担当すれば活性化にも繋がるのではないかと、3小地区に分けて運営してきました。しかし小地区制度はあくまで仮の姿で正式のものではありません、数年前より正式に分封したいとの東小地区より要望がありいろいろ検討を重ね、地区内各団にも又リーダー、団委員の意向も何回にもわたり聞きましたが、大方の意向は分封は未だ時期尚早ではないかと言う意見が大勢でした。しかし東小地区の分封の熱意は固く平成 3 年度より分封することに決まりました。

しかし別れても同じ浜松に活躍する同志として今後も互いに協力して共に発展出来るよう切磋琢磨してゆきたいものです。



い事が、  
を許さな  
我々、小企



い不正



# 新年あけましておめでとうございます

<p>浜松地区副協議会長 <b>市川重雄</b></p>	<p>浜松地区副協議会長 <b>宮澤廣士</b></p>	<p>浜松地区コミッショナー <b>近藤孝明</b></p>
<p>浜松地区副委員長 <b>山中洋一</b></p>	<p>浜松地区組織拡張委員長 <b>渥美俊策</b></p>	<p>浜松地区指導者養成委員長 <b>奥沢達司</b></p>
<p>浜松第24団委員長 <b>原口芳彦</b>  〒430 浜松市曳馬5-2-12 TEL 053-471-3236 FAX 053-471-3115</p>	<p>県連健康安全委員長 浜松24団       " 24団副団委員長 <b>久嶋 豊</b>  〒435 浜松市早出1361-4 TEL 053-461-0446</p>	<p>浜松地区野営行事委員長 <b>木村清治</b></p>
<p><b>浜松第21団</b>  団委員・リーダー一同</p>	<p><b>浜松第7団</b>  育成会長 三浦熊太郎 団委員長 中村公一 団委員 一同 リーダー 一同</p>	<p>浜松地区事務長 <b>太田 進</b></p>
		<p>浜松地区会計 <b>中村公一</b></p>
<p><b>浜松第22団</b> 育成会長 大木俊夫 団委員長 滝川卓幸 シニア隊長 野田幸弘 ボーイ隊長 稲垣紘一 カブ隊長 牧野友保 ビーパー隊長 山本隆弘 他団委員リーダー一同</p>	<p><b>細江第1団</b>  団委員・リーダー一同</p>	<p>寒さにまけない いつも元気 <b>引佐第2団</b>  スカウト一同 団委員一同 リーダー一同</p>
<p><b>浜松第25団</b>  育成会長 尾川安雄 団委員長 田中勝敏 副団委員長 新村祥一</p>	<p><b>浜松第11団</b>  団委員長 中野東亜治 副団委員長 竹山 英夫 " 鈴木 俊輔 " 加茂 敬夫</p>	<p><b>浜松第19団</b>  団委員・リーダー一同</p>

## 東小地区＊ぼくらのスカウティング第6団

### ぼくもスカウトのなかまに

杉本こうじ (北小1年)

ぼくのお兄ちゃんは、ボーイたいです。ぼくは、ちいさいころから、かつどうについてだったので、ことしやっと、ビーバーたいに はいれて うれしいです。ぼくはうちで おとうさんや お兄ちゃんと いっしょに スカウトのうたをうたいます。ロープむすびも、おしえてもらいます。ぼくは スカウトのなかまになれて、うれしいです。みんなとなかよくし きまりを守ってがんばります。

### ビーバーたいをけいけんして

秋山ゆうや (中郡小2年)

ぼくは、ビーバーたいに入って、とてもよかったです。それは楽しいことを1年中やるからです。サイクリングをしたり、つりぼりへいったり、キャンプファイヤーをしたり、秋のぎぜんにいたり、いもほりをしたり、いっしょうけんめいがんばると、シールをたくさんもらえます。それもうれしいことの一つです。そして 一ばん心にのこったことは この中にもあるキャンプファイヤーです。火をかきみながら みんなでうたをうたったり、いろいろなゲームをして、そのあとやかんハイクで 2つか3つの組にわかれて、チェックポイントを、まわって、ゴールに行くという楽しい1日でした。とちゅうちょっと、こわかったけど、楽しかったです。

### カブスカウト活動をとおして

秋山 直彦 (船越小3年)

11月18日浜松東地区のボーイスカウト運動会がありました。一番始めのカップの川わたりでルールがあんまりわからなくてそんなに楽しくないと思っていたけれど、1回2回3回とわたっていたら楽しくなってきました。お昼のお弁当も、おいしかったです。ウルトラクイズで ぼくは全もんせいかいでしたので、心がウキウキしました。きゆうきゆうリレーは、むつかしかったです。勉強になりました。さいごのしゅもくのリレーで6団は、がんばって2位になり、全体では準優勝でした。ひもを結んだり、はんごうすいはんなど、ためになることも教わりました。ボーイのお兄さんたちみたいに、もっといろいろなことをおぼえてみたいです。山登りで、足がくじけそうになったこともあります。キャンプでテント作りが、むつかしくて泣き出しそうでした。これからも、

多くのことにちょうせんして、りっぱなカブスカウトとして、がんばります。



### 夏のキャンプの思い出

中山 剛 (中部中学1年)

僕達は春野町に8月12日から15日まで、夏のキャンプに行きました。キャンプでは水が十分になかったので、下までとりに行ったり、リーダーたちと別々に御飯をたいたりしました。しかし、天体観測、営火、ハイキング、いかだ下り等とても楽しいことも沢山ありました。夏のキャンプで一番心の中に残っているのは、いかだ下りです。竹とひもを使い、僕達の手で組み立て川まで運んで行きました。川の流が速く、ひもが切れて、こわれてしまうのではないかと心配でした。最初はこわかったが、一回下ってみると、とても楽しく何回もやってみました。他の天体観測や営火も磐田12団と一緒にやったりして、とても楽しかったです。この夏のキャンプは楽しく色々なことを学びました。

### 遠征旅行へ行って

美馬 淳志 (東高校1年)

僕達は、シニア隊の3人だけで、前々から予定を立てて、新島へ行ってきました。8月13日に浜松を出て 約8時間かかって目的地の新島へ着きました。新島には3日間キャンプをしたが 或る時は3人が一緒になって頑張ったり、或る時は3人がバラバラになって意見が合わなかったりした。けれども何んとか無事に帰ってこれました。3日間は僕達にとっては最悪だったような気がしました。海でおぼれたり、山を自転車で登ったり大変苦労しました。新島にもいい人がいて、僕達が重い荷物を持ってキャンプ場へ歩いていると、やさしいお兄さんが乗せてってくれたり、帰る時も自転車屋さんのおじさんに送ってもらい本当に親切な人が沢山いました。新島では苦労もしたが島のよい所も多く学んできましたので思出多い旅行でした。

## 東小地区\*ぼくらのスカウティング第24団

### カブでのできごと 岩井慶介 (有玉小三年)

二はく三日で夏のキャンプがあったとき、つらかったことは、二つあります。

一つは、車でいって車よいたときぼくは、ついたらひかげでねていました。そのときはとてもつらかったです。

二つ日は、ねるときテントがせまくて、ぼくの友だちのはぎわら君とようへい君とちかくで、ねました。はじめにはぎわら君がねました。

あつくてとてもつらかったです。

9月のカブラリーでは、キャンプファイヤーがとてもたのしかったです。友だちとねれたのでおもしろかったです。

ぼくは、24団に入ってよかったことは、この前の運動会で、リレーでもかって、一とうをとれたのでよかったです。

ぼくは、24団にぼくの友だちがたくさん入ってみんなカブの活動をやっていきたいです。

### カブラリー 佐々木 亮 (曳馬小4年)

九月十五、十六日太田山でカブラリーをしました。東小地区の4個団のスカウトが集まりました。歌、ロープむすび、テントはりの練習、手ばた、キャンプファイヤー、ゲーム、はんごうすいさんなどをしました。

組は4個団の人をばらばらにしてつくりました。ぼくの組にも他の団の人が三人いましたが話をしやすくはなりました。

元気な子、歌がじょうずな子、いろいろなスカウトがいました。ゲームも自分の団だけでやるより人数が多いほうがおもしろかったです。たまにはほかの団といっしょにやるといつもとちがって楽しいです。

キャンプファイヤーで、ほかの団の隊長がかくしげいをしてとてもおもしろかったです。さいごに火がきえたのでみんなでかいちゅうでんとうをつけてかえってきました。

こんどやるときは、つりなどもしたいです。

### 東小地区運動会 溝口昌弘 (上島小五年)

11月18日に、東小地区の運動会が、浜北のグラウンドで、ありました。開会式があり、ラジオ体操をしてから運動会の始まりです。ぼくたち、5年のカブスカウトは、カップの川渡り走と、救急リレーに出ました。カップの川渡り走は、落ちた人は、いなかったけれど台が、はなれすぎたり、近すぎたりしてなかなかむづかしく6チーム中ぼくらは、3位で6点でした。救急リレーも棒が太く

て洋服がなかなか、通せなくてたいへんでした。

ボーイのやった火おこしは、なかなかむづかしそうで、始めのうちは、どこの団も火をつけられませんでした。が一つの団だけ火をつけられました。けっきょくその団ぬかして、ほかの団は、みな1点でした。

最後は、1位だと点が多い団隊対抗リレーです。ビーバー、カブ、一般、ボーイ、シニアと、いう順序でやりました。応援の人も、走る人達も、いっしょうけんめいでした。ぼく達24団は、最後の方だったけれども、だんだんおいこしてきて、一番になりました。

ゴールに、ついたらたん24団の陣地は、すぐもり上がりました。リレーで逆転して総合点は、1位となり、今年も優勝で4年連続優勝です。来年もがんばって、優勝したいです。

### 楽しかったキャンプ

ふくちしょうご (上島小二年)

ぼくたちビーバーたいは、八月にボーイやカブのお兄さんたちと、むらくしへキャンプに行きました。

むらくしのキャンプ場についたとき、草むらだったので、ぼくはびっくりしました。でも、たい長やふく長がテントをはってくれたのであんしんしました。

テントのまわりの草の中には、こおろぎやバッタやてんとう虫がたくさんいて友だちとつかまえてあそびました。

ナイトウォークでは、きょ年のナイトウォークでもいっしょだったボーイのお兄さんといっしょになってうれしかったです。

くらいところを歩いていくと、クイズやゴムのてっぽうあてがあつて、ぼくのグループでは、ぼくだけがあてられておもしろかったです。おわりのほうにオバケもいたけど、少しもこわくありませんでした。

夜ねるとき、みんなでおそくまできわいでおきていたので、たい長におこられました。でも、楽しくてなかなかねむれませんでした。

つぎの日は、海でビーバーのみんなといっしょにあそびました。

足がつかないほどふかいところを、たい長や友だちのお父さんたちに、つかまってわたりました。

海で、きょうそうやもぐりっこをしてあそびました。

とてもおもしろくて、もう一日とまりたかったです。

らい年はカブになるので、キャンプもたくさんできたらいいな、と思いました。

## 南小地区＊ぼくらのスカウティング第10団

### ハイキングに行ったこと

小野田行宏 (篠原小5年)

ぼくは、5月20日の日曜日に隊集会で浜北市の森林公園に行きました。森林公園についてから長くあんないされてアスレチック場へ行きました。アスレチックはつまらないところばかりだったけど、さいごのほうでちょっとおもしろいところがあった。ぼくは、さいしょのほうはちゃんとやっていたけど、と中からやらなくなった。アスレチックが終わってから道のすみでおべんとうをたべました。食事中にうぐいすが鳴いたので耳をかたむけました。それから少したって人がきたのではずかしかったです。べんとうをくってしまってハイキングをするじゅんびをしました。

いよいよハイキングに行く順番がきました。ハイキングをしていたらと中に2組のデンマザーがキムスゲームをしていました。ぼくは12もんせいかいしました。また歩いていくと道にまよってしまいました。でも正解な道が分かりました。と中でぼくらの組のデンマザーがいました。そこは足で何メートルあるかしらべるところでした。ぼくがはかったのはちがっていました。それからだいぶ歩いてからゴールにつきました。つかれてしまいました。



### キャンプについて

鈴木淳也 (篠原小4年)

ぼくは、かわなのキャンプ場へいく前日にはやくいきたいなとずっと思っていました。

14日に鈴三鉄工にきてからバスに乗っている時カブト虫やセミやバッタがとりたいたなと思いました。そしてかわなのキャンプ場についてからあっちこちにセミやバッタがいて山にはいってからとりの鳴き声がよくしました。おもいっきり息をすったらしぜんのおいがそこらへんからいっぱいしました。

二日目は、すごくよくはれてみんなでカレーを作って食べました。それからじぐぎぐの道をとって川へ、いきました。よるはキャンプファイヤーでげきがうまくできてうれしかったです。

### キャンプファイヤーをやった

鈴木 勇 (篠原小5年)

二日目の夜、ぼくたちは、キャンプファイヤー場で、キャンプファイヤーをやりました。ぼくたちは、はじめに、かきこじぞうのげきをやりました。ぼくは、じぞうのやくをやりました。にもつをはこぶときにそりのかわりに、ゴミぶくろをつかったので、にもつが何回もおちたりしました。かえ歌のときには、歌がきめていなかったので歌うときに、毛虫が三びきをかいぞうして、デコハが三びきを歌いました。二組の人は、浜名湖のてんぐの火のげきとアブラハムの歌のかえ歌を歌って、三組の人は、題は、わからないけどキツネのげきをやってかえ歌はわすれました。でも、楽しいキャンプファイヤーでした。

### 夜間ハイクに参加して

鈴木一慶 (篠原小6年)

始めは、二十二、五キロもあるけるのかなあ。などと不安でいっぱいでした。でも友達と、話しをしたりしている間に不安もどこかへとんでいってしまいました。夜空にかがやく星もとてもきれいに見えました。そして、西インターの近くのあさひやによって、うどんを食べました。そのうどんは、あたたかくて、とてもおいしかったです。歩いていると中、所どころで休けいして、くつをぬいだり、お茶をのんだり、話しをしたり、

「さあ行くぞ！」

という声が聞こえると、みんな立ち上り、出発します。と中にある、お化けがよくでるといふ坂も、みんなで声をあわせて歌を歌ってなんとか通りこせました。だんだんゴール地点が近くなるにつれて、足やそこらじゅうが、いたくなってきました。でもみんなではげまし合いなんとかゴール地点の公民館まで帰ってくることができました。

「やっとなつたぞ！」

とかとみんな声をはり上げました。

ぼくは、二十二、五キロ歩ききれたので、これからどこへいっても、お金がなくなったら歩いて帰ってこれるぞ。と、自信がつかしました。

とてもいい思い出になりました。



## 南小地区＊ぼくらのスカウティング第14団

**たこあげ** くん田さとし (広沢小3年)

ぼくたちカブ隊はたこを作ることにしました。はじめに糸やセメダイン、カッタナイフなどを用意しました。

お父さんも手つだってくれました。

ぼくは、たこを作るとき、木と木をつなぐのに糸をしっかりとまきつけてしばりました。その上にセメダインをつけてかためました。全部できなかつたのでのこりは家に帰ってお父さんとゴミぶくろを使ってたこのはねにしました。

日曜日、さなる公園に持って行ってとばしました。ただどすぐに落ちてこわれてしまいました。なおしてからまたとばしたら、今度ははねがとんでしまいました。お父さんたちがなおしてくれました。ほかの人たちもいっしょのようなものでした。

こんどはうまく上りました。

石野君のたこは、「よくとんだなあ」と思ったら、急に落ちたりしておもしろかったです。川添君のは、ポロポロでした。ぜんぜんとびませんでした。

たこがうまくとんでよかったです。それに糸のそうじゅうも、うまくなってきました。

楽しいたこあげでした。

**ボーイスカウトになって**

ボーイ隊 榎谷 聡

ぼくは、この一年間ボーイをやって、心に残ったこと、勉強になったことは、キャンプ、ロープワークのことだった。

隊のキャンプでは、テントのはり方や、野外での生活の仕方、料理の仕方などが勉強になった。カブとはちがって、全部自分でやらなければならない事が苦しかった。

キャンプでは、いろいろな人の良いところや、悪いところなどが分かった。

ロープの使い方、ひとえつぎ、まき結び、ねじ結びなどが勉強になった。

ぼくはこれからも、ボーイの掟、ロープワークなど、ボーイの良いところを生活にとり入れて人にめいわくをかけず、しっかりした行動をとっていきたい。

これからもボーイを、がんばってつづけて行きたい。

**ボーイスカウトになって**

ボーイ隊 峰野 哲

ぼくは、ボーイスカウトになってよかったことは、いろいろなことをして、いろいろなことをおぼえることができたことです。

例えば、テントをはって、テントの中でねることができました。友達もたくさんできました。そして集会で一番好きなことは、はん合でご飯をたくことです。

ぼくは、ボーイスカウトになって一番よくなったことは、身なりをきちんとできるようになったことです。二つ目は、ロープのしばり方をいろいろおぼえたことです。

ぼくは、こんなことで、ボーイスカウトになって良かったなあといつも思います。

これからもがんばっていきたいです。

**マナーを学ぶ** シニア隊 石岡 宙

去る1月20日、我々14団シニア隊はテーブルマナーについて学ぼうということで、佐鳴台にのプランタンというフランス料理店で「フランス料理研修会」というのを開きました。

参加者はシニアスカウト4名、リーダー3名の7名で、教会(14団の集会場)に集まり車で移動しました。

所詮我々は一庶民ですから、正式なテーブルマナーについては無知に等しく、まずは椅子の座り方、次にナイフとフォークの使い方等と、基本からじっくり教わらなければなりませんでした。

又、普段はワインなど飲まないものですから、このワインは〇×〇×で、などと言われてもてんで分りませんでした。でも味はうまいと思うことができました。

そういう訳で、事細かに指示を受け質問をしながら、なんとかフランス料理を食べ終えることができました。

フランス料理と聞くとマナーが大変難かしそうですが、実際そんなことはありまして、マナーをしっかりと覚えるのは大変だなと感じました。

でも、料理は大変おいしくいただきました。

## 西小地区＊ぼくらのスカウティング第12回

### ビーバー 〈ハイキング〉

森屋正好 (泉小2年)

きょう山へハイキングに行った。山にのぼって、川で水あそびをしました。水がちょっとにごっていたから、下が見えなかった。水あそびがおわってから、丸木ばしをわたっているとき、お父さんがうしろからおしたので、丸木ばしがゆれてこわかった。かえりにお父さんたちをまわって、おしっこをしていたら、ヘビがあるいていました。こわかったです。キャンプ場についてパンを食べた。おいしかったです。

### 〈ハイキング〉 五十嵐 創 (葵西小2年)

ぼくはハイキングをしていて八回もころびました。きのうから雨がふっていてすごくすべりやすかったです。もう一つ、まむしを二回も見ました。一回目のまむしはしっぽしか見れなかったけど、二回目はみんながおしっこをしてたら、によろでできました。それから川であそんですいはんじょうにきて、ごはんをたべて作文をしました。

### 〈アスレチック〉 佐南 昂 (泉小2年)

ぼくは一ばんにはいって、一ばんにゴールしました。はじめのつかまって行くやつにつかまれなくて、ぬかされて行きました。みんなといっしょに行ってたけれど、みんなおそくてどんどんぬきました。それでゴールにつきました。

### 〈アスレチック〉 白井 肇 (城北小2年)

アスレチックはたのしかったです。ピカピカゴロゴロとか、イナズマのぼりとかあったのしかったです。

### 〈キャンプ〉 鈴木洋平 (泉小1年)

ぼくはきのうねるとき、テントのなかで、5人とはなしをしたことがたのしかったです。またらいねんもきたいです。

### ハイキングで十二キロ歩いたこと

山内 拓 (附属小5年)

ぼくたちは、愛知県東栄町という所へ行きました。

はじめは、ふつうの下り道でとっても楽でしたが、中ごろは、草道で道のないような所を歩きました。そしてもう半分ぐらい歩いたと思ったので、

副長に地図を見せてもらったから、まだ十分の一の所でした。ぼくは、びっくりしました。けれどもがんばって歩きました。途中でわき水があってそれを少し飲みました。あまくて冷たかったです。また歩いて歩いてわさび田を見ました。わさびは、つめたくてきれいな水じゃなければそだたないことを教わりました。だからおいしいんだと思いました。

また、ずっと歩きました。そうすると、ダムが見えてきました。ダムといっても、水を川下にたくさん流さないためのダムでした。そしてまたしばらくいくと、ニジマスの養殖場に着きました。友食いをしないためと、えさが口に入るように、大きさごとに別々にしてありました。そして一つぶえさを上げたら十びきぐらいよってきました。ぼくは、すごい食よくだなと思いました。

それから百メートルぐらいほどいった所に墨焼き小屋がありました。炭は、こんな小屋で焼くのかと感心しました。そして、みんなとベチャクチャ話しながら歩いていくと、やっとバス停に着きました。

今日は、十二キロも歩いたときいてぼくはとってもうれしくて、つかれも飛んでいってしまいました。

### 御園天文科学センターへ行って

落合 洋介 (泉小5年)

ぼくは愛知県東栄町御園天文科学センターへ行って楽しかったのはやっぱり二日目の水あそびです。夜御園天文科学センターの天体望遠鏡で見た上星や様々な星はとてもきれいでした。天体望遠鏡を見たあと外でフライシートの上にねころがってそう眼鏡を見ました。そうして見てたら最初は雲で星が見えなかったけれど見ていると星が見えてきてよかったです。電車で2時間半も乗ったのは二～三回しかありませんからつかれました。つかれたというと二日目のハイキングもつかれました。三時間歩きっぱなしでとてもつかれました。ハイキングで12キロも歩いたのは久しぶりだから。東栄町に行つてうれしかったのはアイスが2回でしたこと。2回とも歩いた後食べたのでいつもお店で買うアイスよりもおいしかったです。東栄町ではいつもよりおなかがへっていたので4回の食事をのこさず食べました。東栄町の御園天文科学センターへ行ってとても楽しかったです。とてもカブスカウトの思い出にのこりました。

## 西小地区 \*ぼくらのスカウティング第26団

### みどりの野山へ

久米健次 (有玉小二年)

7月21、22日に太田山野営場に、キャンプに、行きました。テントをはる場所が、なかなかきまりませんでした。やっと場所がきまって、テントを、教えてもらいながら、しっかりと、はることができました。つぎは、ごはんのしたくです。はんごうで、ごはんをたきました。ぼくは、生れて始めて、ほうちょうも、つかいました。ちょっと、やけどをしてしまいました。だけど、水の中につけてなおしました。カレーライスは、とっても、おいしかったです。キャンプファイアでは、歌をうたいました。テントで、はじめて、ねました。ねぶくろも、始めてで、つかれていたので、すぐねました。朝ごはんを、たべてから、昼のおにぎりは、サランラップをつかい、つくりました。かたづけをして、帰りました。いちばん、どきどきしたことは、うまれて、始めて、ほうちょうを、つかって、やさいを、切ったり、カレーを、作ったりしたこと。ぼくにとって、全部、はじめてのことばかりでした。とっても、たのしかったです。



### スカウト活動を通じて

戸塚達也 (曳馬中1年)

私は、このボーイスカウトをやって来ていろい



ろなことを学びました。

それは、隊長が教えてくれるのではなく、それは、班長、班員の仲間が教しえてくれました。ボーイスカウトは、主に自然をあいてにして、キャンプや、ハイキング、サイクリングなど行ってきました。その活動では、なにも知らないボーイに入ったばかりの僕に、先輩がたが、テントのはり方や、食事の作り方を教えてくれました。

ずっと教しえてもらいながらやってきた僕も、今年が僕が班のみんなに教しえる時です。まだ、自分にも、自信はないけど班員のみんなに、手伝ってもらうかもしれないけど、こうして、ボーイスカウト全員とせって、いろいろな、大自然とせっていろいろ知っていくため、友、自然を大切にスカウト活動を続けていきたいと思っています。

### 奉仕活動をやって

白倉 明弘 (東陽中1年)

9月23日に浜松城公園の周囲の奉仕活動を一年後輩の坪井君とカブ隊とでやりました。

カブ隊の人達で見えるゴミを拾うためボーイ隊のぼくたちは、草の中などのあまり目につかないゴミを拾うことになりました。でもあまりゴミはありませんでした。でもゴミがあまりないということは、ゴミやあきカンなどを捨てる人が少なくなったと思うので良かった。そのあと団ルームでロープワークやネッカチーフでの包帯を作り、頭や手足に使う方法を教えてもらった。ぼくは、一回教えてもらったが、ほとんど忘れていたので一回教えてもらっただけでは、いざというとき役に立たないと思いました。なので常に練習をやらなければいけないと思いました。

ぼくは奉仕活動でなくても落ちてくるゴミは進んで拾うようにしたいと思いました。

# SENIOR DOOR



## BS活動と自然

浜松地区副コミッショナー浜松11団

古橋 照久

私達ボーイスカウト活動と自然は切り離す事ができません。なぜならば私達は野外活動を通して子供達を楽しく遊ばせながら、心身共の発達をうながしております。

しかしここ1~2年前よりマスコミでもさわがれている様に世界的に自然環境が破壊されてきております。

私達リーダーはスカウト達に対し、自然を大切にしようと呼びかけますが、「自然とは何か」と言う事を忘れてはいないでしょうか？

ともすると木の名前、鳥の名前又形がどうなっているかと言う様な事を覚える事及び習性等を覚える事により自然を理解したと思っただけではないでしょうか？

確かにその様な事を理解する事も大切な事には違いありません。しかし自然を知る上に重要な問題は、自然のしくみの理解を目標とする事が基本でなければならないと思います。

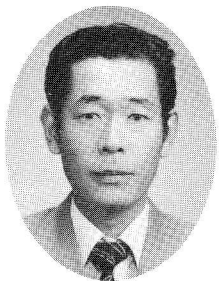
つまり、ひとつには地球という惑星に、大気と水と土があり、ここへ太陽から莫大なエネルギーがそそがれ、緑の植物が育ち、それを食べることで生活する動物がすみ、それらの排出物や死骸を分解する菌類などによって植物の生産の原料が提供されるといった物質の循環やエネルギーの流れ、そこに育つ植物の生長と動物の消長が、食う食われる関係でひとつの秩序を作り上げているという様な生態系として理解しスカウト達に自然を大切に

にする心を植えつけて行かなければならないと思います。

以上の事をよく理解すれば私達が自然と接触するとき、どの様にしなければならぬかが解ってくると思います。この自然との接触のしかた（自然を損わないような）をフィールドマナーと呼びます。こうしたことがらは、幼児のうちから、しつけとして身体に覚えさせることが理想的ですが、今まで日本では生産性を上げる事のみにとらわれ、自然を保護するというような事は、省見られなかった為現在のスカウト達は、言葉としての自然を大切にという事は解っているが、何をどのようにすれば良いのかが理解されていないと思われるので、私達リーダーが相当、意識的に自然保護の思想が身につくようスカウト達を訓練して行く必要があると思います。

このようにして自然に親しみ、自然界のしくみを知っても「自然の価値」をどうとらえるかで、自然に対する姿勢も異ってくる。要するに、物質的豊かさを求めるのか、精神的豊かさを求めるのかで自然の価値は非常に違ってくる。物質的豊かさが人類の繁栄とするなら、原始自然や野生生物は邪魔なものでしかない、物質的な豊かさと便利さを追えば追う程資源とエネルギーを食う。自然は減り、野生生物は迫害される。今、多少不便でも、物質的に貧しくとも、私達は今の美しい自然を豊かな野生生物を残し後世により美しい地球を残す為、スカウト達に正しい自然保護の思想を伝えて行くべきだと思います。

## 訃 報



前県連副コミッショナー  
前浜松地区コミッショナー 玉木 功一 氏が  
浜松 第21回 R S 隊長

1月9日午前3時35分、永眠をされました。

ここに謹んでお悔み申し上げます。

# 弥 栄

平成 2 年度 菊・隼・富士章 取得スカウト

## 菊 章

浜松 4 団	小 栗 輝 彦
	桑 原 慶 郎
	井 本 健 太
	安 田 晴 彦
浜松 14 団	徳 地 靖 和
	谷 川 光 敏
	平 松 康 弘
浜松 21 団	袴 田 純 司
	小 出 裕 一
浜松 26 団	今 井 基 次
	山 下 幸 徳
	白 倉 明 弘
細江 1 団	長 田 康 敬
	安 尾 友 和
	落 合 慎 一
	佐 野 与 視 彦
	内 山 尚 史
	山 口 大 介
	隼 章
浜松 4 団	清 川 慎 悟

## 隼 章

浜松 4 団	藤 谷 繁	戸 倉 洋	西 川 聰
	平 野 和	平 野 雅	平 野 敏
浜松 11 団	鵜 飼 孝	植 田 勝	
浜松 21 団	笹 山 塚		
浜松 22 団	大 森 泰 由	久 米 裕 太	野 田 滋 一
	野 田 垣 島	青 松 尾 上	青 松 尾 上
浜松 24 団	井 高 塚		
浜松 26 団	引 佐 巨 島		
引佐 2 団			
	富士章		
浜松 14 団	柳 堀 友 亮		
浜松 24 団	藤 森 達 也		

**浜松地区＊今後のうごき**

- |  |   |
|--|---|
| <p>1月3日(木)コミ会議<br/>         4日(金)東小地区委員会<br/>         9日(水)平成3年度登録事務説明会<br/>             (南部公民館)<br/>         13日(日)東南西リーダー会<br/>         14日(月)南小地区委員会<br/>         20日(日)進歩面接<br/>         21日(月)地区委員会、新年会、福祉文化会館<br/>         23日(水)西小地区委員会<br/>         24日(木)平成3年度登録事務受付<br/>             (南部公民館)</p> <p>2月1日(金)東小地区委員会<br/>         7日(木)コミ会議<br/>         13日(水)東南西リーダー会<br/>         18日(月)地区委員会</p> | <p>19日(火)進歩面接委員会<br/>         19日(火)指導者育成委員会<br/>             (南部公民館)<br/>         20日(水)南小地区委員会<br/>         24日(日)登録事務受付<br/>         27日(水)西小地区委員会</p> <p>3月1日(金)東小地区委員会<br/>         3日(日)団委員活動発表会<br/>         7日(木)コミ会議<br/>         13日(水)東南西リーダー会<br/>         18日(月)地区委員会<br/>         20日(水)南小地区委員会<br/>         21日～24日班長訓練野営<br/>         27日(水)西小地区委員会</p> |
|--|---|



<p><b>発行所</b> 第119号          日本ボーイスカウト浜松地区事務所          〒433 浜松市和合町220-35          編集発行責任者 渥美俊策          印刷所 三富印刷(株)          平成3年1月25日 発行</p>
---